ドアキャッチャー施工・取付説明書　※必ず施工前にお読みください。また本説明書は取付け後も破棄せずご使用者にお渡しください。

# AC-831

設置条件：床と扉下部の隙間が１５㎜までの対応。

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

## ①取付けの位置決め

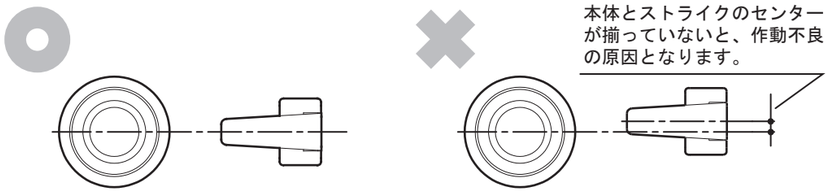
本体を取付ける位置は、ストライクが扉の端から１０～１００㎜の間の位置にくるように設置してください。
また、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。

### ⚠ 取付位置注意

ドアキャッチャーをヒンジ側方向に取付けたり、壁際ギリギリの位置などに取付けますと扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触することがありますので扉との余裕を見て検証しながら位置を決めてください。

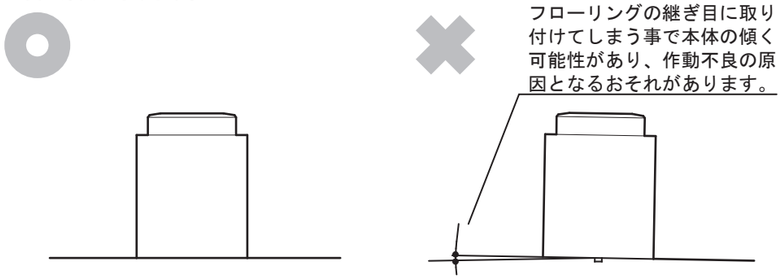
## 本体固定時の注意

●本体のセンターとストライクのセンターが揃っていないと作動不良の原因となります

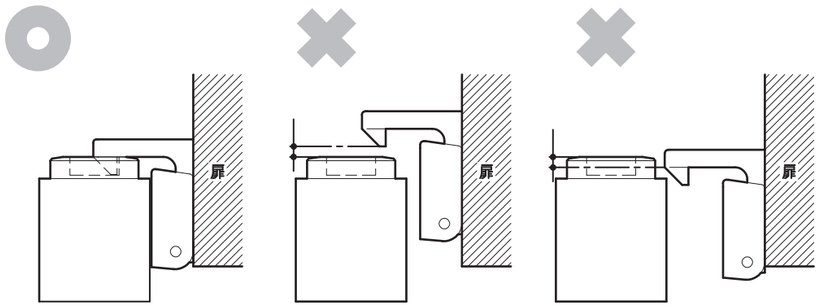



●ストライクの向きに対して本体の向きが水平となる様にしてください。向きがずれていますと作動不良の原因となります。

●フローリングの継ぎ目に取り付けないでください。本体が傾いてしまうおそれがあり、作動不良の原因となります。

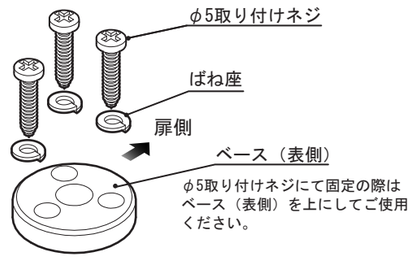



●ストライクと本体のラッチ高さが適正となる様、設置してください。高さがずれていますと作動不良の原因となります。

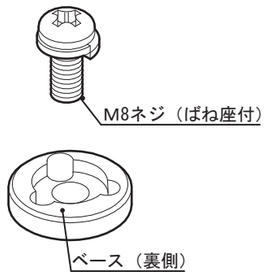



## ②本体の取付け

●ベースの位置を決めた後、φ5取り付けネジとばね座にて固定します。
※φ5取り付けネジは強度確保の為、扉側に2本向けられた位置で固定してください。



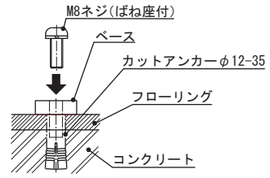

### フローリング下のコンクリートに取付ネジが干渉する場合




M8ネジにて固定の際は、ベース（裏側）を上にしてご使用ください。

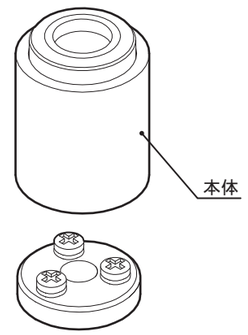
①オプションのカットアンカーを床に打ち込みます。
②ベースをM8ネジ(ばね座付)にて取りつけます。

【注意】
アンカー止めの場合、床面からアンカーが飛び出すと戸当りが浮いてしまいますのでご注意ください。



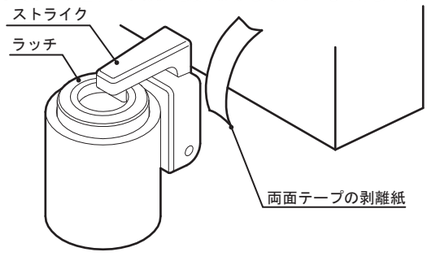

オプション
コンクリート用カットアンカーφ12-35(ネジM8-18)
(品番 AC-0818)

●本体をベースに取り付けます。

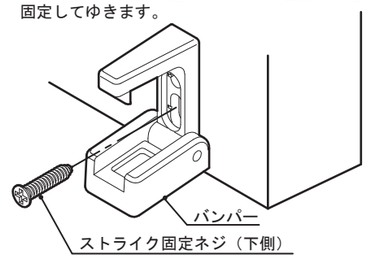



## ③ストライクの取付け

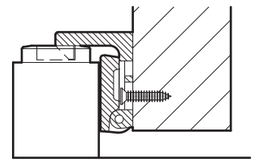
●本体のラッチにストライクを引っ掛けた後、ストライクの裏面に付いている両面テープの剥離紙を剥がして扉に押し付けます。



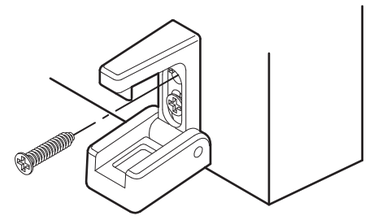

●扉に仮付けされたストライクのバンパーを開き下側の長穴の中央付近にストライク固定ネジを固定してゆきます。




※下側のストライク固定ネジが取り付いた仮付けの状態で、一旦バンパーを閉め、ストライク付きの扉が本体にスムーズにロック・解除操作が可能であるか確認を行なってください。

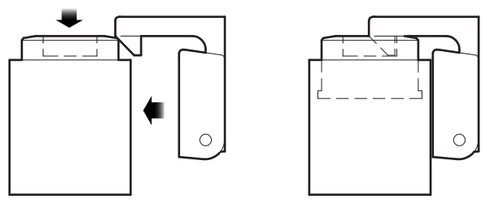


●上側のストライク固定ネジをストライクに固定し、完了です。

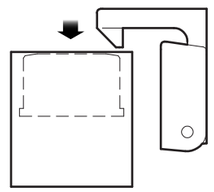


## 特徴・動作

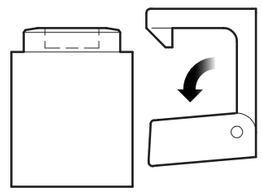
本体上のラッチにストライクの先端が当るとラッチが下がりストライクが嵌る事で扉が自動キャッチされます。



解除時はラッチを押してストライクを外します。



ストライク側のバンパーを前に倒すと戸当たりとして使用できます。



## ⚠ 取付けに関するご注意

●コンクリート面直付けやタイル面にはご使用できません。

●屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。

●本製品はコンパクトサイズなので、電動ドライバーでビス止めする場合には先端径がφ6以下の細いビットをご使用ください。
また、電動ドライバーの使用は途中までとし、最後は必ず手動ドライバーにてしめ込みを行ってください。

●ワックス塗布時は本体にワックスがかからない様、本体側面にマスキングテープ等で養生してください。養生をしない場合、製品の不具合の原因となります。

## ⚠ ご使用に関するご注意

●本製品施工後のロック時の耐荷重は押付・引き方向共に30Kgfです。それ以上の荷重を加えますと扉(ガラス戸)等が破損してケガをするおそれがあります。

●製品の上に乗ったり、タンスや椅子等の重量物を乗せないでください。破損の原因になります。

●床のメンテナンスでワックスを使用する際は本体側面にマスキングテープ等で養生をしてください。養生をしない場合、製品の不具合の原因となります。